

【主担当部局：雇用経済部観光局】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

県民の皆さん、観光地域づくり法人（DMO）、観光関連事業者、市町等と一体となって、オール三重で戦略的な観光マーケティングの仕組みを確立し、三重の強みを生かした観光ブランディングや観光の魅力づくり、観光産業の基盤づくり、快適な旅行環境整備に取り組むことにより、三重が旅の目的地として世界から選ばれ続け、観光産業が三重県経済をけん引する産業の一つとして持続的に成長するとともに、地域全体の発展につながっています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
観光消費額		5,700億円		5,830億円		6,000億円以上
	5,564億円					
目標項目の説明と令和3年度目標値の考え方						
目標項目の説明	観光客が県内において支出した観光消費額（交通費、宿泊費、飲食費、入場料、土産代等）					
3年度目標値の考え方	旅行者の三重県内での周遊性、滞在性を高める取組や外国人旅行者の来県促進、富裕層向けの取組強化等により、消費単価を高めるとともに、消費税増税も考慮しつつ長期トレンド（年平均2.8%増加）を概ね維持し、令和3年には現状値（R1,5,564億円）4.8%増の5,830億円を目標値とします。					

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
観光客満足度		95.0%以上		95.0%以上		95.0%以上
	93.7%					
県内の延べ宿泊者数		910万人		920万人		950万人
	860万人					
県内の外国人延べ宿泊者数		45万人		52万人		68万人
	39万人					

## 現状と課題

- ①新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を受けた観光産業を再生させるため、安全・安心な観光地づくりとともに、宿泊旅行や県内周遊を促進するための事業に取り組むなど、観光需要を喚起するための取組を促進する必要があります。
- ②令和3年の東京2020オリンピック・パラリンピック、三重とこわか国体・三重とこわか大会、令和7年の大阪・関西万博等のイベント、令和9年のリニア中央新幹線東京・名古屋間先行開業、令和15年の次期神宮式年遷宮等を見据え、オール三重で観光振興に取り組むことが必要です。
- ③旅の目的地として世界から選ばれ、持続的に成長する三重の観光の実現に向けて、国内外の観光客の多様なニーズを的確にとらえるためのデジタルマーケティングの仕組みを確立し、三重県観光のブランディングや観光地の魅力づくりに取り組むとともに、観光産業の高付加価値化や観光産業の生産性向上、受入れ環境整備に向けた取組を進めていくことが必要です。
- ④新型コロナウイルス感染症の影響により大きく変化している、新たな旅行ニーズへの対応やDXの推進に加え、従来からの課題である人口減少および少子高齢化の進展、キャッシュレス化の進展、観光産業の担い手不足等の変化に対し、本県観光を発展させるため、しっかりと対応していく必要があります。
- ⑤各国における新型コロナウイルス感染症や国際航空便の運航状況等を注視しつつ、海外の旅行会社や外国人旅行者に対しこれまでに構築してきた関係を維持し、インバウンドの再開を見据えて需要を取り込めるよう準備をしておく必要があります。
- ⑥令和3年開催の第9回太平洋・島サミットについて、伊勢志摩サミットのレガシーを最大限に生かし、成功に向けてオール三重で取り組むとともに、サミット開催気運の醸成、三重県の魅力発信と地域経済回復、島しょ国との交流の発展ひいては国際会議に関するブランド力の向上につなげる必要があります。
- ⑦新型コロナウイルス感染症拡大は観光地の産業基盤に大きなダメージを与えており、県内観光産業を再生するためには、コロナ後の時代における新たな旅行ニーズへの対応とともに、地域観光産業が抱える構造的な課題の解決に向けた取組が必要です。

## 令和3年度の取組方向

- ①新型コロナウイルス感染症により大きな打撃を受けた観光産業を再生し、さらなる発展を促すため、観光業におけるDXを推進し、旅行者目線に立った観光振興の取組を、県、市町、県民、観光地域づくり法人（DMO）、観光事業者、観光関係団体がそれぞれの役割を担いながら、連携・協力しオール三重で推進します。
- ②観光客の行動スキームである「旅への興味」「情報収集」「計画・予約」「目的地」「旅行後」の各段階に応じて、多様なデータを収集・分析することで、観光客の関心や嗜好に沿った観光コンテンツやサービスをタイムリーに提供するなど、戦略的な観光マーケティングの仕組みを確立し、効果的なプロモーションや地域の魅力づくりにつなげます。
- ③動画やSNS等のデジタルツールを活用し、旅行者の関心や嗜好に合わせた情報を提供するなど、自然や文化、食、体験など「三重ならではの価値」を生かし、「三重に行かなければ味わうことのできない」新たな価値を、旅行者の目線も踏まえてオール三重で創造するとともに、客が客を呼ぶサイクルの確立に向けたブランディングを展開します。
- ④ニューノーマルに適応した新たな旅のスタイルに対応し、県内はもとより国内各地からのリピーターを増加させるため、観光関連事業者や観光地域づくり法人（DMO）、市町等と連携しながら、地域ならではの資源を生かした観光地の魅力づくりを促進します。

- ⑤首都圏・関西圏等大都市圏からの誘客・宿泊を促進するため、新型コロナウイルス感染症の影響を注視しつつ、鉄道、航空などの交通事業者や国・他府県等関係機関と連携し、発地での情報発信や誘客プロモーションに取り組みます。
- ⑥新型コロナウイルス感染症による影響に留意しつつ、海外の旅行会社等との連携による現地でのプロモーションとオンラインを活用したデジタルマーケティングを効果的に組み合わせたインバウンド誘客に取り組みます。
- ⑦令和3年に本県で開催される第9回太平洋・島サミットの成功に向けて、オール三重で取組を進め、観光や食、環境など様々な面から三重の独自性を世界に発信し、本県のブランド力のさらなる向上につなげていきます。また、本県を含めた14道県が参画する「太平洋島嶼国・日本地方自治体ネットワーク」と連携した島しょ国との交流について検討していきます。
- ⑧三重ならではの特色を生かし、ターゲットを明確にしたセールスプロモーションを行うとともに、感染予防対策を徹底し、オンラインによる参加を併用した国際会議の開催などを支援することで、MICE開催地としてのブランド価値を高めます。
- ⑨観光地における感染予防対策を徹底するとともに、観光防災やバリアフリー観光を推進し、AI等最新の情報通信技術を生かした観光案内を整備することで、誰もが安全・安心に、ストレスフリーに旅行ができる環境整備を促進します。
- ⑩地域の将来を担う地域DMOや観光事業者が主体となり、官民が連携して観光地域の構造改革に向けた検討や実証事業を行うことで、観光地域のポテンシャルを引き上げ、観光地全体の生産性や収益性を向上させ、持続可能な観光地づくりを促進します。

## 主な事業

### ①（一部新）みえ観光の産業化推進委員会負担金

【基本事業名：33101 世界の人びとを魅了する三重の観光地づくり】

予算額：(R2) 34,678千円 → (R3) 1,037,498千円

事業概要：観光の産業化と持続可能な観光地域づくりを推進するため、県内の地域DMO等観光地域づくりを行う団体に支援を行うとともに、交通事業者等と連携し中京圏・関西圏等のプロモーション等に取り組みます。また、新型コロナウイルス感染症の影響により多大な影響を受けた県内観光関連産業を支援するため、宿泊施設の割引クーポンの発行など、旅行需要を喚起するための取組を実施します。

### ②（新）観光デジタルトランスフォーメーション推進事業

【基本事業名：33101 世界の人びとを魅了する三重の観光地づくり】

予算額：(R2) ー千円 → (R3) 127,923千円

事業概要：観光におけるDXを推進し、「新しい生活様式」を踏まえた旅行者のニーズに対応するため、県がこれまでに蓄積したデータやコンテンツ、デジタルツールを活用した事業を連携・連動させ、デジタルを活用した取組を実践できるプラットフォームを構築するとともに、プラットフォームを活用して得られたデータを、県内観光事業者のサービス提供の向上や商品開発などにつなげ、地域の特性を生かした魅力的な観光地づくりを促進します。

③三重県版観光スマートサイクル確立事業

【基本事業名：33101 世界の人びとを魅了する三重の観光地づくり】

予算額：(R2) 49,758千円 → (R3) 46,794千円

事業概要：観光事業者や旅行者にとって、より魅力的な観光コンテンツの開発やサービスの提供を行うため、スマートフォン等を活用し、観光客に楽しんでもらいながらマーケティングにもつなげる「スマホでみえ得キャンペーン」を進めるとともに、動画を活用したブランディングプロモーション等を実施するなど、観光におけるDXを推進します。

④観光デジタルファースト推進事業

【基本事業名：33101 世界の人びとを魅了する三重の観光地づくり】

予算額：(R2) 11,272千円 → (R3) 19,898千円

事業概要：インターネットを通じてより効果的に三重の旅の魅力を伝えるため、SNSや口コミサイトなどに現れる旅行者の生の声からそのニーズを把握するとともに、地域の旅の魅力を伝える記事の制作とWebサイトでの発信、旅行者自身による三重県観光情報の拡散を目的としたSNS投稿キャンペーンに取り組みます。

⑤（新）アフターコロナ・インバウンド復活事業

【基本事業名：33101 世界の人びとを魅了する三重の観光地づくり】

予算額：(R2) ー千円 → (R3) 46,399千円

事業概要：インバウンド再開後、国内の観光地間の競争に打ち勝ち、訪日需要をいち早く取り込むため、現地に強いネットワークを持つ事業者等とも連携し、オンラインで体験できるバーチャルツアーなどを効果的に活用した新たなスタイルの商談会や誘客イベントを開催するとともに、外国人向けの料金割引を伴う宿泊・体験キャンペーンなどに取り組みます。

⑥（一部新）海外誘客推進プロジェクト事業

【基本事業名：33101 世界の人びとを魅了する三重の観光地づくり】

予算額：(R2) 20,289千円 → (R3) 13,277千円

事業概要：コロナ後の時代における新たな旅行ニーズに対応し、現地情勢を踏まえた適時適切なプロモーションを展開するため、現地にレップ（営業代理人）や相談窓口を設置し、個人旅行者や教育旅行の誘致に取り組みます。また、従来の台湾と欧州（フランス）に加え、新たにタイにもレップを設置します。

⑦（新）太平洋・島サミット推進事業

【基本事業名：33101 世界の人びとを魅了する三重の観光地づくり】

予算額：(R2) ー千円 → (R3) 57,072千円

事業概要：令和3年に本県で開催される第9回太平洋・島サミットの成功に向けて、地元市町・関係団体等と連携してオール三重で開催準備を進めるとともに、サミット開催気運の醸成を図るため、広報活動や気運醸成事業を実施します。また、「みえ太平洋・島サミット推進会議」を開催し、同会議から意見や助言を得て、本県の魅力発信や島しょ国との交流の発展等、より充実した事業の実施につなげます。

⑧（一部新）海外MICE誘致促進事業

【基本事業名：33101 世界の人びとを魅了する三重の観光地づくり】

予算額：(R2) 16,327千円 → (R3) 32,591千円

事業概要：伊勢志摩サミットの開催から5年目を迎え、太平洋・島サミットの開催で注目される機会を生かし、新たな生活様式に基づく国際会議の誘致に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症収束後の国際会議の動向および開催地・観光地としてのブランド確立に向けたMICE誘致の活用について調査を実施します。

⑨（新）安全・安心な観光地づくり推進事業

【基本事業名：33102 人にやさしい観光の基盤づくり】

予算額：(R2) ー 千円 → (R3) 65,045千円

事業概要：観光地の安全・安心の確保の取組を強化し、感染症予防対策と経済活動を両立させるため、県内観光事業者に対してニューノーマルへの対応の支援などを行うアドバイザーの派遣や、最先端技術を活用し地域の特性や課題に対応した感染症予防対策の展開など、安全・安心な観光地づくりを促進する取組を行います。

⑩観光事業推進費

【基本事業名：33102 人にやさしい観光の基盤づくり】

予算額：(R2) 23,463千円 → (R3) 22,060千円

事業概要：「三重県観光振興基本計画」に基づき、県民や多くの関係者と観光事業の推進を図るとともに、観光地における感染予防対策を徹底し、安全・安心な観光地づくりを促進するため、観光客の動向の分析に必要な観光客実態調査、三重県版バリアフリー観光の推進、観光防災等に取り組みます。

⑪（新）持続可能な観光地づくりに向けた宿泊施設集積地活性化事業

【基本事業名：33101 世界の人びとを魅了する三重の観光地づくり】

予算額：(R2) ー 千円 → (R3) 15,000千円

事業概要：持続可能な観光地づくりを促進するため、地域DMO等と連携し、地域の観光産業が有する構造課題の解決に向けた検討や実証事業を行います。